



2018年
5.20
第1311号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

島根原発2、3号機稼働許さない 中電は原発稼働断念せよ 党県議団、原発30キロ圏の議員が迫る



中国電力島根支社・地域共生部の小山均明部長に対し、申し入る尾村県議ら（中国電力島根支社）

日本共産党県委員会は11日、島根原発3号機の新規稼働、2号機再稼働の断念を求め、中国電力に申し入れました。尾村利成、大国陽介の両県議、橋祥朗、吉儀敬子の両松江市議、原田貴与子、向田聡の両安来市議、上代和美・雲南市議、吉井安見・民青県委員長が中電島根支社を訪れました。



要請では、専門家が指摘した鳥取県から島根県にかけての地下の「ひずみ集中帯」と徹底調査▽原発立地自治体並みの安全協定（立ち入り調査権、原子炉停止要求権）の周辺自治体との締結▽活断層評価、基準地震動などの丁寧なる説明会の開催などを求めました。

中国地方の基地問題を考えるシンポジウム

6月2日(土)
時間:午後1時~4時30分
会場:岩国市福祉会館
(岩国市麻里布町7-1-2)

極東最大の基地となった米軍岩国基地と周辺住民の不安と苦しみ——シンポジウムでは、岩国基地を軸として大きく変容する中国地方各地の実態の全貌を明らかにします。

- 【総合司会】 前衆院議員 大平 喜信
- 沖縄からの報告
沖縄県議会議員 比嘉 瑞己
- 国会報告
参議院議員 仁比 聡平
- 発言
現地からのレポート（岩国、厚木など）
主催:日本共産党国会議員団中国ブロック事務所



「引き続き、誠意を持って協議する」と答えました。(2面に関連記事)

「引き続き、誠意を持って協議する」と答えました。(2面に関連記事)

「医師・看護師大幅増員」などのプラカードを持った看護師や介護福祉士、県議、行政関係者ら約80人が集いました。

「Make Peaceの集い」(憲法改悪反対!5・3実行委員会主催)が3日、松江で開かれ、約350人が参加しました。作家・映画監督の森達也氏が「世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい」と題して講演しました。

鼓動 3日は「憲法記念日」だった。県内でも憲法について考える集会や、安倍9条改悪ノリの3000万署名の取り組みがあった。国民の大多数が「戦争するな、9条守れ」と全国の津々浦々で声をあげているにも関わらず、安倍政権によって再び戦争する国づくりが進められている▼筆者は、3日は取材であちこちを移動し、原稿を書いていたため、とりたてて憲法について深く思いを巡らせる時間はなかった。先日、スゲジュールを確認するために赤旗手帳を開き、憲法前文だけでも読んでみようと思いはじめた▼これまで筆者は前文を読まずに「天皇」の事項から読むことが多い。日本国憲法全文を守るといのが日本共産党の立場だが、いわば憲法のエッセンスである前文には、ほとんど目を通してない。前文には、ほとんどの情けない話である▼前文では「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と記されている。前文は、国政の権威は国民に由来すること、権力は国民の代表者が行使し、その福利は国民が享受することを示し、これが人類普遍の原理であることを明記し、こう結んでいる▼「われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」9条を変えてアメリカと自衛隊が戦争に行くことが、果たして国民の福利であるだろうか。「福利」とは幸福と利益のことだ。少なくとも、戦争をして福利を享受するのは大多数の国民ではなく、ごく一部の人間だけである。安倍9条改憲を絶対に許すわけにはいかない。(純)